

訓練番号	5-07-06-002-02-0110	求職者支援訓練	実践コース(02 IT分野)
------	---------------------	---------	----------------



～訓練終了後3カ月以内の就職を目指します～

## Java・Python プログラミング科(eラーニングA)

**2ヶ月**

安心して受講していただけるように訓練生それぞれの習得度をチェックし、習得状況の把握に努め、親身に対応します。

### 1. 訓練について

訓練期間	令和8年2月5日(木)～ 令和8年8月4日(火)	訓練実施方法	eラーニング及びオンラインによる	
訓練時間	523時間	訓練実施施設名	SCTポリテクニク・カレッジ 山形校	
訓練対象者の条件	<p>【eラーニングコース共通】次のいずれかに該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①育児・介護中の者</li> <li>②居住地域に訓練実施機関がない者</li> <li>③在職中の者等、訓練の受講にあたり特に配慮を必要とする者</li> </ul> <p>【本訓練コース向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インカメラ付きPC(Windows11、Mac/Linux不可)とインターネット環境をご用意できる方(PC・ルーターの貸与を希望されない場合)。</li> <li>・パソコンの基本操作(タッチタイピング基礎、Officeソフトの基本操作)ができる方。</li> </ul>			
受講料	無 料	自己負担額	教科書代	14,740円(税込)
			PC・ルーター	無償貸与 (※希望者全員に貸与)
			その他自己負担	※PC・ルーターの貸与を希望されない場合、通信費は受講者ご自身のご負担となります。 ※任意受験の受験料は別途自己負担

### 2. 募集について

募集期間	令和7年11月20日(木)～ 令和8年1月16日(金)	定員	13名
		※応募状況が低調な場合は、訓練の実施を中止することがあります。	

### 3. 応募方法について

①住所を管轄するハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要書類とともに、募集期間内に申し込み手続きをしてください。

②受付された受講申込書を下記実施機関までご提出ください。

**【提出先】SCTポリテクニク・カレッジ 山形校(〒990-0044 山形県山形市木の実町7-1ダイヤ10木の实町4F)**  
 ※選考のご案内をスムーズに行うために、「受講申込書」の欄外に必ずメールアドレスをご記入ください。  
 ※締切日必着で申込書の原本を郵送してください。  
 ※申し込み後、事務局(sct.polycolle@gmail.com)まで『コース番号・氏名』を記載の上、キャリアメール以外からテストメールを送信してください。

③選考日前日までに「受講に関する誓約書」を提出してください。「受講に関する誓約書」につきましては、ご応募後にメールにてお送りいたします。

※期日までに提出できなかった場合や提出を拒んだ場合は選考を受けることが出来なくなりますのでご注意ください。

### 4. 選考について

選考日時	令和8年1月21日(水) 選考時間は後日事務局からお知らせします	選考方法	オンライン(Zoom)で受験
選考方法	面接・学科・パソコン操作などの実技試験	選考結果通知方法	メール
選考結果通知日	令和8年1月27日(火)		事務局(sct.polycolle@gmail.com)よりご連絡させていただきます。

### 5. 職業訓練受講給付金について

ハローワーク所長の「支援指示」により求職者支援訓練を受講する場合に、一定の要件を満たせば訓練中の生活支援として、職業訓練受講手当・通所手当が支給されます。

※雇用保険受給資格者で、ハローワーク所長から「受講指示」を受けた方には、訓練期間中「基本手当・受講手当」及び該当者には「通所手当」が支給されます。詳しくは、求職の申し込みをしているハローワークにご相談ください。

実施機関名 株式会社ソラコムサイテック 〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目6-18 山一仙台中央ビル8階  
 TEL: 022-226-7025 FAX: 022-774-2709 担当者: タン・ベギー、古川(コガワ)

※募集期間終了間際になりますと、ハローワークの受付窓口が大変混雑しますので、お早目の受講申込手続きをお勧め致します。

## 6. 訓練カリキュラムについて

訓練内容	科目		科目の内容		訓練時間
	学	科			
	学	就職支援	履歴書・職務経歴書作成指導、ジョブ・カード作成指導、面接指導		6時間
		安全衛生	情報機器作業と安全衛生		2時間
		IT基礎	システム開発の工程		19時間
			自社開発・受託開発・SESの概要		
	課題解決型のマインドと構造的な思考アプローチ				
	実技	Webデザイン演習	HTMLを用いたWebページの作成		21時間
			CSSを用いたWebページのデザイン		
			JavaScriptを用いたWebページの作成		
		Javaプログラミング基礎	Javaの基本構文を使ったプログラミングの実施		86時間
			Javaのオブジェクト指向を使ったプログラミングの実施		
			Javaの標準APIを使ったプログラミングの実施		
		Javaプログラミング実践	MVCを使ったプログラミングの実施		85時間
			Javaを用いたWebアプリケーションの作成		
			DAOを用いたデータベース連携		
		Pythonプログラミング基礎	基本的な変数とコレクションを使ったプログラミングの実施		84時間
			基本的な条件分岐、繰り返し処理などの制御文を使ったプログラミングの実施		
			Python特有の処理を使ったプログラミングの実施		
		Pythonプログラミング実践	応用的なアルゴリズムのプログラミングの実施		86時間
応用的なコレクション、制御構文の使い方の実践					
データベース基礎		データの登録、変更、削除、取得の実施		43時間	
		テーブルの結合と作成の実施			
		トランザクション管理の実施			
ソフトウェア開発演習		ソフトウェアの設計の実践演習		85時間	
		自分で作成した設計書をもとにしたコーディングの実施			
	完成したソフトウェアのテストの実施				
企業実習		<input checked="" type="checkbox"/> 実施しない <input type="checkbox"/> 実施する			
職場見学、職場体験、職業人講話		職業人講話	「IT業界で働く人の現場の声」講師： 株式会社Sola.com社員		6時間
訓練時間合計		523時間			

## 7. 訓練目標について

◆基本的なプログラミング言語の仕組みをJava、Pythonなど主要な言語で学び、ソフトウェアの改修、設計など実務に活かせる能力を身につける。(ITSSレベル1以上の資格取得をめざします)

【任意受験】Python3エンジニア認定基礎試験、基本情報技術者試験、CompTIA A+、CompTIA Cloud Essentials+、Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 11

## 8. eラーニングコースの留意点

①eラーニング受講環境として、下記の条件を満たすパソコンおよびインターネット環境のご準備をお願い致します(PC・ルーターの貸与を希望されない場合)。

～ パソコン: OS: Windows11(Mac/Linux不可) CPU: インテル Core プロセッサー 第7世代以上(Core i5 以上推奨)

または AMD Ryzen プロセッサー 第2世代以上(いずれも2コア以上・2.0GHz以上推奨) メモリ: 8GB 以上 ストレージ: 256GB 以上 (SSD推奨)

～ インターネット環境: オンラインによるビデオ通話を支障なく行える速度(目安:上りと下りの双方で実測値が1.5Mbps以上を満たす固定回線・モバイルルーター回線)

※上記を満たさない機器での受講参加をご希望の場合は、動作不良や学習進行への影響について、ご自身の責任にてお願いいたします。

②訓練カリキュラム:1週間程度の期間を要する分量で内容に関連性が認められるものを「ユニット」とし、各「ユニット」受講終了毎に確認テストを実施します。

※習得度確認テストにおける正答率が3回連続で8割未満の場合、又は、未受験の習得度確認テストが4ユニット分に達した場合には、訓練実施機関は当該受講者を理由を問わず退校処分とすることとする。

③1週間に1度、オンラインによる対面指導を行います。(※対面指導及び同時双方向型授業は土日・祝日に実施される場合もございます。)

④就職支援のキャリアコンサルティングはオンライン形式により実施いたします。

## 9. 問い合わせ先(受講申込書の郵送先)



### 【受講申込書の郵送先】

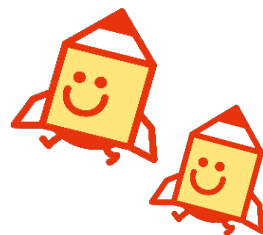
SCTポリテクニク・カレッジ 山形校

〒990-0044

山形県山形市木の実町7-1ダイヤ10木の实町4F

TEL: 050-3785-3826

Mail: sct.polycolle@gmail.com



## 10. eラーニングコースについて

このコースはDX推進スキル標準(経済産業省及び独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が策定)対応の訓練コースです。